

第34回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会
『復興』と文化遺産－災害、紛争、社会変化－

(The 34st International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property-"Reconstruction Process"and Cultural Heritage: Disaster, Conflict, and Social Changes-)

平成22年度は、『復興』と文化遺産』をテーマとし、文化遺産国際協力センターが担当して、文化財の保存および修復に関する国際研究集会を開催した。本研究集会では、災害や紛争後の復興過程、あるいは政治体制や社会状況の変化といった様々な局面において文化遺産がどのように扱われ、その保存や修復にどのような意図が込められ、そこで文化遺産が社会に対してどのような役割を果たしてきたのか、といった文化遺産と社会とのかかわりについて、具体的な事例の分析を通じて改めて考察することを目的とした。

日程：2011(平成23)年1月19日(水)～21日(金)

会 場：東京国立博物館平成館大講堂

参加者数：347名(3日間の延べ人数)

[基調講演](Keynote Lectures)

	発表者	演題
1	ニコラス・スタンリープライス(イクロム前事務局長)	「災害後の文化遺産復旧」(The Recovery of Cultural Heritage Following a Disaster)
2	木下直之(東京大学)	「人は文化遺産に何を求めてきたか」(What Have People Expected from Cultural Heritage?)

[第1セッション] 災害からの復興(Reconstruction after Disaster)

	発表者	演題
1	ルチアーノ・マルケッティ(ラクイラ文化遺産復興政府特命副総監・イタリア)	「アブルッツォ(ラクイラ)、マルケ、ウンブリア(アッシジ)：復興の道程」(Abruzzo, Marche, Umbria: Reconstruction Processes)
2	侯衛東(中国文化遺産研究院)	「中国における汶川地震および玉樹地震発生後の文化遺産保護修復活動」(Conservation and Restoration Activities for Safeguarding Cultural Heritage after the Wenchuan Earthquake and the Yushu Earthquake in China)
3	村上裕道(兵庫県教育委員会)	「災害復旧と文化遺産を慈しむ社会—阪神・淡路大震災の経験を通して—」(Disaster Recovery and a Society which Cherishes Cultural Heritage —From the Experience in the Great Hanshin-Awaji Earthquake—)

[第2セッション] 紛争からの復興(Reconstruction after Conflict)

	発表者	演題
--	-----	----

1	アミール・フォラディ(アガ・カーン財団・アフガニスタン)	「アフガニスタンの人々にとってのバーミヤーン保存活動の意義－主要な課題と前進への道程－」(The Significance of the Conservation Activities of Bamiyan for the Afghan People: Key Challenges and Ways Forward)
2	山内和也(東京文化財研究所)	「バーミヤーンにおける文化遺産保存と国際貢献」(Conservation of Cultural Heritage in Bamiyan, and the International Contribution)
3	アムラ・ハジムハメドヴィッチ(ボスニア・ヘルツェゴビナ国家記念物保護委員会)	「千年紀の転換点におけるボスニアの遺産:戦後復興」(Bosnian Heritage at the Turn of the Millenium: Post-War Reconstruction)
4	ライラ・ハジッチ(NGO「国境なき文化遺産」・ボスニア・ヘルツェゴビナ)	「国境なき文化遺産－西バルカン地域における修復、和解および再融合－」(Cultural Heritage without Borders－ Restoration, Reconciliation, and Re-integration in the Western Balkans－)
5	アン・チュリアン(カンボジア王立芸術大学)	アンコール地域の無形遺産:バランスのとれた保全を目指して(The Intangible Heritage in Angkor Area: toward a Balanced Care)

[第3セッション] 社会変化の中での復興(Reconstruction amid Social Changes)

	発表者	演題
1	ルドルフ・S・モルゲンシュテルン(ドレスデン工科大学名誉教授)	「異なる政治体制の狭間におかれた文化遺産－ドイツ・ドレスデンの歴史的教会についての二つの事例から－」(Cultural Heritage Caught between Different Political Systems－ Demonstrated by two examples of historical churches in Dresden / Germany－)
2	ナタリア・デュシュキナ(モスクワ建築大学)	「ロシアにおける歴史的再建－将来への戦略か、遺産概念の減損か－」(Historic Reconstruction in Russia: a Strategy for the Future or Devaluation of a Heritage Concept ?)
3	ドルジ・ワンチュク(ブータン国立民俗遺産博物館)	「国策としての文化遺産の保護継承」(Transmitting the Cultural Heritage as a National Policy)
4	清水真一(東京文化財研究所)	「戦後日本の社会変化と文化遺産保護」(Social Changes and the Protection of Cultural Heritages in Post-war Japan)

[総合討議] 「復興」と文化遺産、そして国際協力の課題("Reconstruction Process" and Cultural Heritage: Issues/ Challenges for International Cooperation)